

議会だより 2026 冬 No.118

発行：初山別村議会

編集：議会報発行特別委員会

令和8年2月発行

提出議案と審議結果

議案番号	案 件 名	結果
報告第6号	専決処分の報告について〔村営住宅建築工事（繰越）請負契約の変更について〕	報告済
議案第50号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第51号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第52号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第53号	フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第54号	パートタイム会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第55号	職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第56号	令和7年度一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第57号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第58号	令和7年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第59号	令和7年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第60号	令和7年度村立診療所特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第61号	令和7年度簡易水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第62号	令和7年度農業集落排水事業等会計補正予算（第2号）	可決

12月 定例会

12月議会定例会は、12月11日に開かれました。村長提出の議案は、条例の一部改正など14件で、いずれも審議の結果、原案どおり可決されました。

一般質問では、三谷議員、高場議員が村政の執行について、村長、教育長の考えをいただきました。

また、議員から提出された意見書案1件を可決し、関係省庁へ送付しました。

条 例

■職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

↓ 人事院勧告に伴い、給料表、期末・勤勉手当を引き上げ。

■議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する制定

↓ 職員に準じ、議員の期末手当を引き上げ。年間0.05月分

■特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

↓ 職員に準じ、村長・副村長・教育長の期末手当を引き上げ。年間0.05月分

■フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

↓ 職員に準じ、給料を引き上げ。

■パートタイム会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例

↓ 職員に準じ、期末・勤勉手当を引き上げ。

■職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

↓ 国家公務員等の旅費に関する法律の改正に伴う改正。

【高場議員】
包括宿泊費とは。

【寺崎総務課長】
旅行会社に依頼したときに、交通費や宿泊費が一括で請求されるものと規定されている。

【労働諸費】
高場議員
若年者雇用促進助成金の具体的な状況について。

【大西経済課長】
若年者雇用対象者を雇用した場合に助成金を企業へ支払うもの。1件の若年者雇用の実績があり補正し対応するもの。

【林業振興費】
高場議員
豊かな森づくり推進事業費の内容について。

【大西経済課長】
民有林を含めた造林事業、基本的には植栽事業が主な事業で当初予算

補正予算

■一般会計(第3号)
↓ 3667万3千円を追加し、25億8495万7千円に。

【ふるさと納税寄附金】
高場議員
企業版ふるさと納税寄附金について、企業の意向により非公表であったのか。

【佐藤企画振興室長】
企業版ふるさと納税については、2件の寄付があった。企業ごとに非公表の部分が、企業の意向に沿ってホームページにより公表を行っている。

■国民健康保険特別会計(第3号)
↓ 504万6千円を追加し、2億1585万5千円に。

■介護保険特別会計(第3号)
↓ 263万6千円を追加し、2億1311万9千円に。

■後期高齢者医療保険特別会計(第2号)
↓ 75万5千円を追加し、2699万1千円に。

■村立診療所特別会計(第3号)
↓ 5万1千円を追加し、6346万1千円に。

■簡易水道事業会計(第2号)
簡易水道事業収益
↓ 416万9千円を追加し、1億6032万6千円に。

簡易水道事業費用
↓ 421万6千円を追加し、1億5683万4千円に。

■農業集落排水事業等会計(第2号)
農業集落排水事業等収益
↓ 269万8千円を追加し、1億2904万8千円に。

農業集落排水事業等費用
↓ 269万8千円を追加し、2億69万8千円に。

対象面積より2ヘクタールほど増えたことによるもの。

【老人福祉費】
斉藤議員
ぬくもり灯油購入扶助費の対象世帯数は。また、未使用者への対応は。

【大井住民課長】
対象世帯数は、80世帯を見込み予算計上している。未使用者への対応については、村から対象世帯へ連絡し漏れのないようにしたい。

【ふるさと納税寄附金】
高場議員
企業版ふるさと納税寄附金について、企業の意向により非公表であったのか。

【佐藤企画振興室長】
企業版ふるさと納税については、2件の寄付があった。企業ごとに非公表の部分が、企業の意向に沿ってホームページにより公表を行っている。

■国民健康保険特別会計(第3号)
↓ 504万6千円を追加し、2億1585万5千円に。

■介護保険特別会計(第3号)
↓ 263万6千円を追加し、2億1311万9千円に。

■後期高齢者医療保険特別会計(第2号)
↓ 75万5千円を追加し、2699万1千円に。

■村立診療所特別会計(第3号)
↓ 5万1千円を追加し、6346万1千円に。

■簡易水道事業会計(第2号)
簡易水道事業収益
↓ 416万9千円を追加し、1億6032万6千円に。

簡易水道事業費用
↓ 421万6千円を追加し、1億5683万4千円に。

■農業集落排水事業等会計(第2号)
農業集落排水事業等収益
↓ 269万8千円を追加し、1億2904万8千円に。

農業集落排水事業等費用
↓ 269万8千円を追加し、2億69万8千円に。

し、1億2761万円に。

【村営住宅建築工事(繰越)請負契約の変更】
↓ 契約金額8327万円を8538万2千円に変更。

【国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書】
提出者 加藤 一裕 議員
賛成者 長谷川幸廣 議員
賛成者 三谷 博子 議員
内容：北海道は、我が国最大の供給力を有する農林水産業や観光資源といったポテンシャルを有する。しかし、自然災害に伴う交通障害や道路施設の老朽化などの課題を抱えている。国においては、自然災害対応のほか、道路の老朽化対策、除排雪の充実確保など国土強靱化の取組を推進するため、特段の措置を強く要望する。

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣等。

【発議】

【その他】



三谷 博子 議員

Q 路線バス、都市間バスの減便を防ぐための対応は

A 主体的に地域公共交通の活性化及び再生に努めたい

議員 地域公共交通について

村は、令和3年4月から、交通空白地帯を解消する持続可能な新しい地域公共交通の構築を目的として、自家用車を持たない村民を対象にデマンド型車両しよさまる号を運行し、その範囲を路線バス事業に配慮した「村内に限り」としています。一方、村民の足として長きに渡り、村民の大きな支えとなっている路線バスは、少子高齢化や人口減少、車社会の進展などによる利用者減少で赤字路線の拡大を防ぐため、減便の実施を続けざるを得ない状況です。都市間バスにもその影響が出てきており、更なる減便も危惧されているところであり、通学、通院、買物等、留萌までを生活圏とする村民には大きな負担となっています。村民の暮らしを支える為、路線バスや都市間バスの減便を補う為に、しよさまる号の運行を羽幌まで拡大する必要があると思えます。又、路線バス、都市間バスについても、これ以上の

減便を防ぐための具体的な対応策を伺います。

村長

暮らしを支える地域公共交通の維持、確保は、交通分野にとどまらず、まちづくり、健康・福祉等、様々な分野に、大きな影響をもたらします。村における地域公共交通は、路線バスのみであり、その路線バスも少子高齢化等から利用者が減少し、減便が続いております。このような状況のもと、現在、村では、地域公共交通対策とし、「福祉有償運送」と「交通空白輸送」の2つを、社会福祉協議会へ委託し、行っております。「しよさまる号」の運行範囲の羽幌町までの拡大、「減便の対応策」についてですが、近年は人口減少や運転手不足の深刻化に伴い、民間事業者による輸送サービスの提供の継続が困難となる地域が増加しております。地方公共団体をはじめとして、地域公共交通の確保・維持に向けた取り組みを推進する動きが活発化しております。交通事業を行う場合、道路運送法に基づく、各種許可や届け出が必要であり、地域交通法に基づく

「地域交通協議会」や、道路運送法に基づく「地域公共交通協議会」という、自治体が主体的に関与する場において、地域の関係者によつて、当該サービスの必要性について合意形成がなされた場合、道路運送法の特例が適用され、認可が得られることとなります。こうしたことから、公共交通機関の運行に不便が生じる場合であっても、独自の判断による運行態勢づくりへの合意形成は、容易ではない状況にあることをご理解頂きたいと考えます。しかしながら、現代社会においては、通勤や通学、通院など、生活の中でありとあらゆる活動を行うには移動が必要であり、移動ができなければ、社会参加の機会が失われてしまいます。また、子どもや高齢者、障害者に加え、ケガや病气などから、自家用車を利用できない人は、地域公共交通がなければ生活が著しく制限されることとなります。地方自治体が地域住民の豊かな生活を支え、持続可能な社会をつくることを考えるとき、その一つのツールとして地域公共交通は極めて重要であります

ので、まちづくり、産業、医療、福祉、環境、観光、商工など、関連施策と連携しながら、地域公共交通に取り組みが必要だと考えるところでは、今後更に厳しさを増すことも予想されますが、国や北海道の動向を見極めつつ、地域の実情に即した、柔軟な制度や仕組みづくり、財政支援について引き続き要請するとともに、生活バス路線協議会、関係自治体と情報共有を図りながら、運営事業者と密接な連携のもと、主体的に地域公共交通の活性化及び再生に努めて参りたいと考えますので、ご理解願います。

一問一答

議員

地域の交通を守るには、地方だけでは難しいが、国への要望はどのように行っているのか。

村長

留萌総合開発期成会や町村会で地域間系統の確保、維持補助金の支援について要望している。

一般質問



高場 志津子 議員

Q 旧豊岬小学校前庭遊具を 更新し遊び場としては

A 需要を見極めたうえで、
検討を進めたい

旧豊岬小学校校舎や周辺を活用した地域活性化策について

議員

① 豊岬地域は公園がなかったため、児童生徒は放課後や休日学校前庭の遊具と親しみ、遊び場としておりました。現在は、その遊具も老朽化し、ブランコは使えなくなっております。最近では市街地の児童数も増え、路上や豊岬館横の駐車場を主な遊び場としております。依って遊具を更新し、再び安心安全な遊び場として復元させてはいかがでしょうか。

② 旧豊岬小学校は平成26年の閉校以来、2階は郷土資料館になっております。1階は住民による、レラカフェ、ブックカフェ、サークル活動等に利用されておりましたが、コロナ禍以後使用されなくなり、11月26日の子ども議会での「勉強会などに利用できる場所を増やすのはどうでしょうか」という提案に対して、村長は、村内には他にも利用可能な場所があることから児童生徒が利用しやすくなるよう、利用方法の見直しを

検討すると答えています。役場分庁舎内の「ツ・ドウ」等の様に、記帳だけで使用できる様、郷土資料館を除いて、無施錠にして自由な使い方をしてもらおうようにしてはいかがでしょうか。

③ 閉校以来、ポランティア有志が学校花壇に花を植え続け、更に有志が空き地にも沢山の花を咲かせてくれていきます。依って廃校舎前庭、周辺空き地を含めた公園化構想を官民共働で立ち上げ、完成させ、豊岬住民のみならず、他地域からも訪れ楽しめるような公園にしてはと考えますがいかがでしょうか。

教育長

1 点目については、前庭の遊具は、平成12年度に豊岬小学校の遊具として設置整備されたもので、すべり台・鉄棒・雲梯・ブランコが設置されましたが、老朽化が著しかったすべり台を撤去したほか、ブランコ等は腐食が進み、現在は使用できない状態となっております。子ども達が家の近所で、安心して安全に遊べる場を確保するという観点から、公園ないしは公園機能を

持った空間が必要だと、考えております。旧豊岬小学校前庭については、実際の需要を見極めたうえで、今後、遊具更新の検討を進めたいと考えております。

2 点目については、旧校舎1階部分については、コロナ禍以前にはコミュニティスポットとしてカフェを開催する等、地域の方々にご活用いただいていたところであり、一方、旧校舎2階郷土資料館部分については、史料・展示物の盗難、破損などの危険性を考慮すると、当該施設を無施錠とした場合には、不特定多数の出入りが可能となることから、新たに2階へのアクセスを物理的に制限する方策をとる必要が発生すると考えております。また、旧豊岬小学校を開放した場合、どれだけの利用が見込まれるのか等の検討も必要であると考えていることから、現時点においては、旧豊岬小学校を無施錠で開放する予定がない点、ご理解賜りたいと存じます。

村長

質問の3点目については、現在の豊岬地区におきましては、みさき台公園

を除き遊具が整備されている場所はない状況であり、地区の子どもたちが時として路上や駐車場で遊ぶ姿を見受けられることがあります。これまでも、地域住民の皆様からも子ども達が、元気で屋外で遊ぶことのできる環境づくりの声を頂いております。こうしたことから、地域の子どもの「安全・安心な遊び場」を主眼に、周辺全体を含め地域住民の皆様、様々な世代の方々の潤いや安らぎの場となるよう、暮らしに身近な公共空間として対策を検討して参りたいと考えます。

一問一答

議員

人口が減少した本村において利用頻度を最優先としては何もできなくなるのでは。利用頻度に関わらず検討しては。

教育長

旧豊岬小学校前に遊具を設置したら利用が見込まれると実際に判断できるときには、総合的に判断しながら設置の可否を検討したい。

子ども議会を開催

議会改革特別委員会（三谷博子委員長）は、11月26日に村議会議場で子ども議会を開催し、初山別中学校3年生6名が議員となり、村長、教育長へ一般質問を行いました。

各子ども議員からの質問内容は次のとおりで、前向きな回答を得ました。

1番 高場 瑛仁 議員

・みさき台公園のキャンプ場のあたりにグランピング施設を作ってみてはどうでしょうか。

・みさき台公園にある野球場や遊具の整備をしたり、テニスコートを作ったりしてみてもどうでしょうか。子連れのキャンプ客でも行きやすくなると思います。

2番 佐藤 優奈 議員

・天文台について他の地域や県の人に知ってもらえば利用者も増えると思います。また、望遠鏡についても詳しく書くといいたいのではないのでしょうか。

・村の観光名所がほとんど豊岬にあるので初山別にも観光地をつくってみるのもいいのではないのでしょうか。

・初山別の観光地はネットで調べても岬の湯やみさき台公園が上位の方にあるので自然の観光地（金比羅神社）をもっとPRしたほうがいいのではないのでしょうか。

・特産品はおいしいものがたくさんありますが他県、他市町村には特産品がありません。

・思いました。なので、特産品についてホームページに詳しく書いてみるのはいかがでしょうか。

3番 佐藤 晴那 議員

・繫小屋や岬センターのようなフリースペース、ワークスペースを増やせますか。遊び方が決まっている遊具よりも、勉強会などに利用できる場所を増やすのはいかがでしょうか。

・初山別の特産品を利用した新商品をもっと増やすのはいかがでしょうか。ハスカップともち米を使った大福や、フグだしを利用した煎餅はでしょうか。

・しよさまる焼きをオロ坊饅頭のように保存期間を高めて土産として売るのはどうでしょうか。

4番 森山 歩佳 議員

・修学旅行のアンケートの結果で地元料理や特産品などを推していった方がいいという意見を頂いたため、フグだしなどの調理に使えるもの他に届いてそのまま食べられるようなものを返礼品として使用すればいいのではないのでしょうか。

・みさき台公園は景色が良く評価が高いですが、布団などの泊まる際に必要なものをレンタルするとさらに良いのではないのでしょうか。

5番 吉田 梨乃 議員

・プラネタリウムを作ることではできませんか？天気が悪くても綺麗な星空が見れるので観光客が増えやすくなると思うのですがどうでしょうか。

・ジャムや飲料だけでなくハスカップを使ったスイーツ、ドレッシング、クラフトビールなど新たな商品を開発してみてもいいのでしょうか。

・星空のライブ配信や、ドローン映像で絶景を紹介するなど、デジタルを活用した情報発信で、村の魅力を全国に届けてみるのはいかがでしょうか。

・インスタのショート動画を活用して星空や金比羅神社の動画を作ってみるのも効果的なのではないのでしょうか。

・小さくて気軽に買いやすい、ベビーカステラを特産品として売っている市町村がありません。初山別の観光

を活かして星の形を作ってみるのはどうでしょうか。

6番 長谷川 蒼人 議員

・空き家を利用して、宿泊施設やお店などの公共施設を運営したらいいのではないのでしょうか。

・桜ロードをより楽しめるようにするために、展望台を設置したり、ライブカメラで配信をしたりするのはいかがでしょうか。

・自然と身近にふれ、共存することができるようなイベントを行うのはいかがでしょうか。



学校定期監査

令和7年度学校定期監査を11月11日に村内小中学校で実施。

監査委員 荒木 隆
監査委員 鎌田 健治

1 監査対象

・令和6、7年度配分予算実行状況。

・施設の管理状況、備品整理保管状況、理科薬品等の保管状況。

2 監査結果報告

・配分予算の執行状況、伝票経理事務、各備品台帳の整理、備品の整理、保管は、概ね適正に執行されていると認めました。

・校舎内の管理、清掃等は、適正と認めました。

・理科薬品、器具類等の整理、保管は、適正と認めました。



議会のうごき

11 月		12 月	
11	全国町村議会議長全国大会（議長・東京都）	1	議会運営委員会（委員長外全委員及び議長）
	学校定期監査（監査委員）		議会全員協議会（議長外全議員）
12~14	留萌管内町村議会議長会行政視察（議長・島根県）	10	例月出納検査（監査委員）
12	例月出納検査（監査委員）	11	第4回定例会（議長外全議員）
17	監査委員・補助職員研修会（監査委員・札幌市）	1 月	
20	北海道後期高齢者医療広域議会定例会（議長・札幌市）	4	二十歳のつどい（議長外議員全員）
26	子ども議会（議長外全議員）	7	初山別救難所出初式（議長外議員全員）
	総務経済常任委員会（委員長外委員全員及び議長）		初山別村消防団出初式（議長外議員全員）
27	北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会（議長・札幌市）	14	第1回臨時会（議長外議員多数）
	北海道町村議会議長会理事会（議長・札幌市）		議会報発行特別委員会（委員長外委員多数）
	羽幌町外2町村衛生施設組合議会定例会（高場議員・羽幌町）		例月出納検査（監査委員）
	北留萌消防組合議会定例会（斉藤議員・羽幌町）	22	議会改革特別委員会（委員長外委員全員）

編集後記

新年を迎え村民の皆様いかがお過ごしでしょうか。

コロナ・インフルエンザは大丈夫でしたか。健康には留意され元気で過ごして下さい。年末には二人の日本人がノーベル賞の栄誉に輝きました。

その一方では、ノーベル平和賞受賞者の身の危険が脅かされ、母国に帰国できない状況にあります。海外での戦争・紛争が止まりません。日中関係もどうなることでしょうか。今年は午年です。優駿馬の如く光り輝く一年となる様世界平和を願います。

（文責・加藤 一裕）

議会報発行
特別委員会

委員長 齊藤 勝博
副委員長 三谷 博子
委員 高場志津子
委員 加藤 一裕